

◆地域別ワーキンググループの対象3地域及び検討テーマについて◆

	現状と課題	希望されている検討テーマ
<p><b>1. 大阪中央環状線「中環の森」及び周辺地域</b></p> <p>～“都市”における新たな「人と自然の共生軸（グリーンベルト）」の実現～</p>	<p>&lt;まとまりのある緑の乏しい地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既成市街地を貫く動線である近畿自動車道（大阪中央環状線）沿線は、緑のまとまりの極めて乏しい地域である。</li> </ul> <p>&lt;都市の緑の骨格をつくる重要な地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府広域緑地計画の中で「中央環状緑地群」として位置づけられている。</li> <li>・大阪府景観条例による景観形成地域に指定されている。</li> </ul> <p>&lt;「中環の森づくり」事業の開始&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用地の先行緑化事業－「中環の森づくり」が平成15年度よりスタートした。</li> </ul> <p>&lt;グリーンベルトの形成、緑のネットワークの実現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあいや景観形成等の観点から緑地や水辺の再生・創出とネットワーク化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●沿道地域におけるみどりの再生・創出のあり方</li> <li>●多様な主体によるまちづくりと一体となったみどりづくりの方策（公民の連携方策やみどりの拠点・軸からにじみだすみどり環境を創出するための施策及び事業手法等）</li> <li>●都市公園や歴史的な古墳群、再生を目指すニュータウンなどのネットワーク化手法</li> </ul>
<p><b>2. 岸和田市域</b></p> <p>～“流域”単位で考える自然環境の保全・再生・創出～</p>	<p>&lt;泉南地域における典型的な小流域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・源流部は国指定天然記念物の“和泉葛城山ブナ林”。</li> <li>・里山部では、府条例に基づく“意賀美神社自然環境保全地域”や、雑木林の竹林化を防ぐ“神於山自然再生事業”の実施。</li> <li>・“蜻蛉池公園”の整備や、“久米田池”における環境整備。</li> <li>・都市部を流れ、里山と海を結ぶ“春木川”。</li> <li>・ベイエリアでは、人工干潟（阪南2区）創出の取組が進む。</li> </ul> <p>&lt;自然環境の分断化・孤立化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市化の進展の中で、モザイク状に残る自然環境は、分断化・孤立化によりその“質”の低下が進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●“流域”単位で考える自然環境の“保全・再生・創出”のモデルケースとして、“水と緑の再ネットワーク“の効率的な実践手法（“身近な生きもの”を指標とする“ネットワークモデル”の検討）</li> </ul>
<p><b>3. 東播磨地域</b></p> <p>～地域が主体となって考える“ため池”を中心とした水辺環境の保全・再生・創出～</p>	<p>&lt;地表水の乏しい地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨地域は、その気候条件（降水量が少ない）、地理的条件（台地状の地形）から地表水に乏しい地域である。</li> </ul> <p>&lt;ため池や水路の整備により独特の景観が形成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古来より水を得るため、ため池や水路が整備され、この地域独特の景観が形成されてきた。</li> </ul> <p>&lt;公共財的な役割を担うため池等の保全&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの施設は農業水利施設としての機能に加え、人々の暮らしと密接に関わる中で、神事や祭事、生活様式、生活習慣など独特の文化を培ってきた。加えて、これらの施設は、洪水調整をはじめとする多面的機能を有し、この地域の水辺空間として保全する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ため池や水路等を保全するスタンダード（基準）</li> <li>●ため池等の保全及び次代へ継承するための具体的な方策</li> </ul>